

(別紙5)

整理番号 2017P-145  
補助事業名 平成29年度 障害者グループホームの建築 補助事業  
補助事業者名 社会福祉法人尾道さつき会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

バリアフリー化された新たな施設の整備により、市内で不足している障害者グループホームの受け皿を増やすとともに、特に受入れが難しかった中・重度の利用者の受入れが可能となる。

また、建設地は向島という島嶼部であり、現在、島の中には軽度者用のグループホームしかない。高齢化した保護者にとって、公共交通機関を利用しての島外利用者との面会等は負担も多く、島内での中・重度者用グループホーム建設の要望が多数あり、その要望にも応えることができる。

### (2) 実施内容

- ・ 障害者グループホームの建築 定員10名  
<http://www.satukikai.com/?p=3372>
- ・ 鉄骨2階建1棟 1階152.94平米 2階151.24平米 延床面積304.18平米
- ・ 付帯設備 暖冷房設備 設置面積176.16平米  
エレベーター設備1基  
合併処理槽設備 25人用 流入BOD200PPM 放流BOD20PPM  
スプリンクラー設備 設置面積218.7平米
- ・ 初度調弁 液晶テレビ2台  
衣類乾燥機2台  
空気清浄機2台  
冷蔵庫2台  
食卓セット(テーブル1台、椅子5脚)2セット  
食器棚2台

(別紙5)



↑ 建物外観



↑ 玄関正面



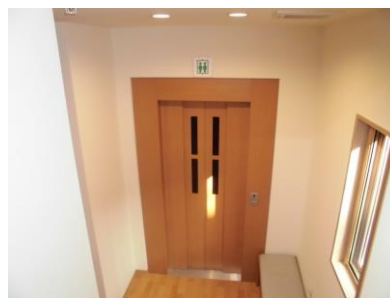
↑ 廊下



↑ 居間・食堂



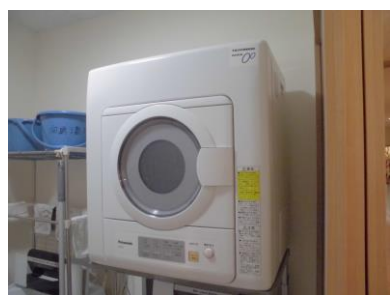
↑ 居室



↑ エレベーター



↑ 液晶テレビ (初度調弁)

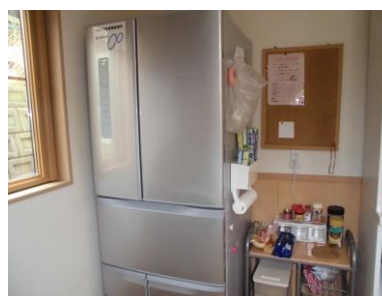


↑ 衣類乾燥機 (初度調弁)

(別紙5)



↑ 空気清浄機 (初度調弁)



↑ 冷蔵庫 (初度調弁)



↑ 食卓セット (初度調弁)



↑ 食器棚 (初度調弁)

## 2 予想される事業実施効果

- ・ 現在不足している市内の障害者グループホームの受け皿を増やすことができる。特にサービス事業の選択肢が少なかった中・重度の利用者の受入れが可能となるため、今後の高齢化や重度化にも対応することができる。
- ・ 島内に整備することにより、身近な存在として高齢化した保護者の心身の負担も軽減されるとともに、近隣には障害者通所施設や高齢者施設も多数存在し連携もとりやすい。また、学校・消防・市役所の支所等の公共施設やスーパー等も近く充実した地域生活を送ることができる。

## 3 補助事業に係わる成果物

本事業に係わる印刷物等

- ・ 広報誌さつき 61号
- ・ 山陽日々新聞 第20979号 平成30年1月18日付 掲載

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 社会福祉法人尾道さつき会（シャカイフクシホウジンオノミチサツキカイ）

住 所： 〒722-0042

広島県尾道市久保町1786番地

代 表 者： 理事長 平石 朗（ヒライシ アキラ）

担 当 部 署： むかいしま作業所（ムカイシマサギョウシヨ）

担 当 者 名： 主任 橋本 法之（ハシモト ノリユキ）

電 話 番 号： 0848-44-6460

F A X： 0848-44-4441

E - m a i l： hashimoto@satukikai.com

U R L： <http://www.satukikai.com>